情報提供日	令和８年（2026 年）３月５日（木）
問い合わせ先	広島市植物公園 管理課　　中原、富澤 TEL 082-922-3600

「草木染の世界」展を開催します

広島市植物公園では、「草木染の世界」展（通算４５回目）を開催します。展示室に一歩足を踏み入れると、合成（化学）染料とは全く違う、植物独特の心落ち着く天然染料でやさしく染め上がった上品な色合いの「染め物」が、温かく迎えてくれます。

共　　催：広島草木染の会
開催期間：３月１４日（土）～４月９日（木）
出 点 数：①染物作品　　約 20 点
　　②草木染見本　約 20 種類
会　　場：展示資料館１階展示室
内　　容：①広島草木染の会の会員が制作した新作の藍染タペストリーなどの作品展示
　　②植物（草木）で染めたスカーフと、使用した植物・染色方法の紹介

▲昨年の展示風景

【関連イベント】
「草木染の世界」展ギャラリートーク
開催日時：３月２２日（日）　午前１１時から
場　　所：展示資料館１階　展示室（先着２０名）
内　　容：「草木染の世界」展の展示解説を行います。

子ども織物教室　＜ 事前申込制（3/4 必着）＞
開催日時：３月２２日（日）　午後１時～午後２時
　　午後３時～午後４時
材 料 費：500 円
場　　所：展示資料館２階　講堂（各回抽選 10 組）
内　　容：小学生とその保護者を対象に小さな織機を使って、オリジナルの織物マット作りを体験します。

▲草木染のスカーフ、植物・染色方法の紹介

草木染について
植物を利用して染色する方法は、古くから日本に存在しましたが、「草木染」という言葉は、昭和になってから新しく生まれたものです。古くは植物の葉や樹皮・根などから出る液を布にこすりつけるといったごく単純なものでしたが、いつしか鉄やミョウバンの水溶液に浸けると色が発色・定着（媒染）することが見出され、今日のような草木染になったのです。草木染には、大量生産できない、濃い色が出づらい、色にばらつきがでるなどの欠点もありますが、天然染料による素朴な美しさには、それらを補ってあまりあるものがあります。

開園時間　午前９時から午後４時半まで（ただし、入園は午後４時まで）
入園料　大人 510 円、65 歳以上・高校生 170 円、中学生以下無料
休園日　毎週金曜日
※期間中の金曜日（3/20、3/27、4/3）はさくらまつりのため臨時開園します。